

年頭のご挨拶

会長 JG1VBD 石井文義

明けましておめでとうございます。2022年の年頭にあたり、会員をはじめご家族の皆様に対しまして謹んで新春のお慶びを申し上げます。日頃、東金アマチュア無線クラブに対して、ご支援ご協力を戴いていることに深く感謝申し上げます。

令和4年(寅年)がJE1YSYにとりまして、FBな年でありますよう心からお祈り申し上げます。昨年からの新型コロナウイルス感染拡大のため、クラブ行事が3密を避ける観点から残念ですが中止となりました。年間の行事は中止となっておりますが、当クラブ発足から続きますロールコールや「145.58MHz」を使用して楽しいラグチュウ等が何時までも続けられることを願っています。

令和4年元旦ロールコールは、1107回目となり継続は力なりと言われておりますので、これからも続けて参りますのでよろしくお願い致します。当クラブの会員数も減少となりましたが、会員同士の絆を一層深め会って、今年もJARL千葉県支部長のご指導の下に、登録クラブの一員として千葉県支部運営に協力して参りますので、よろしくお願い致します。これからも、会員各位が心身共に健康で趣味の王様であるアマチュア無線が何時までも続けられることを祈念して、クラブの益々の発展と会員はじめ御家族の方々のご健康とご多幸をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶と致します。



— 非常通信訓練 —



— 初日の出青年の森駐車場 —



— オーロラ (by JA1UKU) —

アマチュア無線非常通信訓練

令和3年9月12日(日)に「令和3年度JARL千葉県支部主催アマチュア無線非常通信訓練」が県下一斉に実施されました。

東金アマチュア無線クラブは、山武地区を担当、山王台公園に於いてJE1YSY/1を開局し運用しました。144.80MHzの周波数を使用して、11時10分から12時10分の間に山武管内外から多数の局と交信、また7MHz帯での運用も実施し、多数の局と交信できました。

参加されました各局、ご苦労様でした。(企画部・広報部・技術部)

東金アマチュア無線クラブ QSOコンテスト 結果発表

コロナ禍の中、対面での行事を行うことが難しいことから、新しい試みとしてクラブ内のQSOコンテストを10月と11月の2ヶ月間、開催いたしました。

その結果11局の方々に応募していただきました。そこでコンテスト結果を下記のとおり発表させていただきます。

QSOコンテスト 集計結果表					
2021/10/1~2021/11/30コンテスト実施					2022/1/20
番号	コールサイン	交信局数	ポイント	平均P	備考
1	JH1OTW	303	1687	5.568	第1位・副賞
2	JG1VBD	120	682	5.683	第2位・副賞
3	JA1LRM	69	366	5.304	第3位・副賞
4	JM1CEE	50	276	5.520	第4位・参加賞
5	JF1XOG	36	201	5.583	第5位・副賞
6	JE1SIP	26	155	5.962	第6位・参加賞
7	JN1JNT	21	136	6.476	第7位・特別賞
8	JL1XGM	21	133	6.333	第8位・副賞
9	JH1BRO	20	112	5.600	第9位・参加賞
10	JR1JAZ	13	79	6.077	第10位・参加賞
11	JM1WMV	5	26	5.200	第11位・特別賞

※実施要項によりポイントの多い方から順位をつけました。

1位・2位・3位・5位・8位副賞その他参加賞としました。

※特別賞(企画部)は平均ポイントの1位と11位としました。

表彰ならびに副賞等の授与は、今後のクラブ行事の状況に合わせてなるべく早く行いたいと思いますので、しばらくお待ちください。

応募されました各局、ご協力いただきました皆様ありがとうございました。今回の結果をふまえ、今後も続けていければと考えています。(企画部)

令和4年元旦 第1107回ロールコール

(今年の抱負と東金市人口当てクイズ) キーセンターJG1VBD

JA1LRM	新型コロナの終息を願う。	57,000人
JA1SQQ	風邪を引かずに頑張ります。	57,245人
JF1XOG	問題を一つ一つ解決して行く。	57,288人
7M3PHG	誇りをもって仕事に取り組みたい。	57,357人
JH1BRO	ハムライフを楽しみたい。	57,150人
JH1OTW	健康を保つ。	57,254人
JJ1DVH	今年も読書すること。	57,480人
JR1JAZ	体に気を付けて色々な事をやりたい。	57,288人
JM1CEE	ハムライフを楽しみたい。	57,300人
JF1WAP	ロールコールをパーフェクトにしたい。	57,378人
JL1AVQ	今年一年頑張っていく。	57,800人
JE1JSZ	健康に留意して園芸と無線を楽しむ。	57,269人
JH1RUW	健康に注意して一年を過ごします。	57,236人
JN1JNT	アクティブに無線をやろう。	57,258人
JL1IOJ	健康に注意して無線をしたい。	57,561人
JG1FVL	健康でコロナに感染しないように。	57,246人
JG1VBD	健康でアマチュア無線を続けたい。	57,310人
JE1SIP	QSP	-
高山(準会員)	家族旅行をしたい。	57,275人

△参加19局 (ロールコール出席順) 編集 JG1VBD

今年の正解は「57,248人」でした! (市役所調べ)

元旦ロールコールに参加された近隣局は3局 でした。

JF1DTH 海保 JJ1KDK 江尻 △JG1HEJ 杉崎

令和4年2月13日(日) 開催予定の「ちばハムの集い2022」は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。

JARL千葉県支部のWeb サイトより

お知らせ 新スプリアス規格への移行期限の延長が決定

令和3年8月3日付で、無線設備規則の一部が改正され、即日施行され、新スプリアス規格への移行期限を令和4年11月30日とする経過措置が当分の間、延長されることが決定しました。総務省官報第546号をご確認ください。

なお、申請方法がわからない方は、お手伝いいたします。(技術部)

“情報です”

会員の皆様の中には、アマチュア無線を始めたきっかけのひとつとして、「短波帯で昭和基地と交信したい」と願望を持ちながら開局した方が少なからずおられるのではないのでしょうか！その昭和基地で活躍された方が市内に居住されているとの情報を得ましたので、早速、投稿依頼をお願いしたところ、快く引き受けてくれ寄稿してくれましたのでご紹介します。

情報提供者 JM1CEE 石田泰郎

第19次南極地域観測隊の思い出

JA1UKU 秋山 道夫

昭和基地全景



私が無線に興味を持ったのは、中学2年の時で同じクラスの友人が、たまたまアマチュア無線をやっている友達を紹介されたのが始まりでした。この頃、どちらかと言うと化学が好きで将来はそちらに進みたいと考えていました。友達のマイクを握る姿を見た時、体に電気がはしるのを感じておりました。なにがなんでもアマチュア無線をやりたいと言うことで高校も決め、私の進む道を決定しました。高校時代に電話級アマチュア無線技士、第3級無線通信士、第2級無線通信士、第2級無線技術士、第1級無線通信士の予備及び学科2科目まで進み、当時の日本電信電話公社（現在のNTT）に入社しました。採用先は銚子無線送信所で約3年間ここで過ごしました。JCSでおなじみの銚子無線は椎柴の送信所、小畑の受信所で一つの海岸局を形成しておりました。

当時、南極との公衆電報は銚子無線が対応しており、そのせいもあ

って銚子の通信士の方が良く南極越冬隊に参加されていました。参加が決定すると訓練を含めて椎柴の送信所に毎年来る様になりました。

南極観測隊の通信担当は第1次～第6次1名、第7次～第14次2名、第15次～3名となっており、第12次隊から技術者が参加し始めました。今まで通信士の人しか行けないと思っていたのですが、技術士からも可能となり、この頃から南極への夢が芽生えました。それも苦勞して取得した第1級無線通信士の資格が職場では生かされる事は無く、むなしさがあったのですが、南極観測隊への受験資格には第1級無線技術士、第1級無線通信士が必須であり、①誰もが行ける訳でもないはてしない未知への冒険、②オーロラを見てみたい、③通信士の実務を経験したい等の理由で第13次越冬隊の受験に踏み切りました。

当時、受験者は全国から20名程度、資格を持っているのに実技試験、隊長との面接があり、4名が選ばれ1月に長野県の乗鞍岳で冬季訓練が行われ3名が呼ばれました。スキー等経験はありませんでしたがスキー板にシールを張り頂上までつれていかれました。先輩に聞いていたのですが、山中での共同生活が終わると全員リュックを背負ったまま下山しなくてはならず、私などは何百回も転んで降りた事を覚えています。下山した宿では打ち上げと称してたくさんのお酒が用意され和気藹々と飲んだのですが、後日聞いた話によると精神鑑定の医者も同席していたとの事でした。この訓練で2名に絞られ、いよいよ各種身体検査を受けます。検査は多岐にわたり、最後の胃の検査でひっかかり直前で不合格となってしまいました。この時、喜んでくれた父母、女房に申し訳無い気持ちで一杯でした。

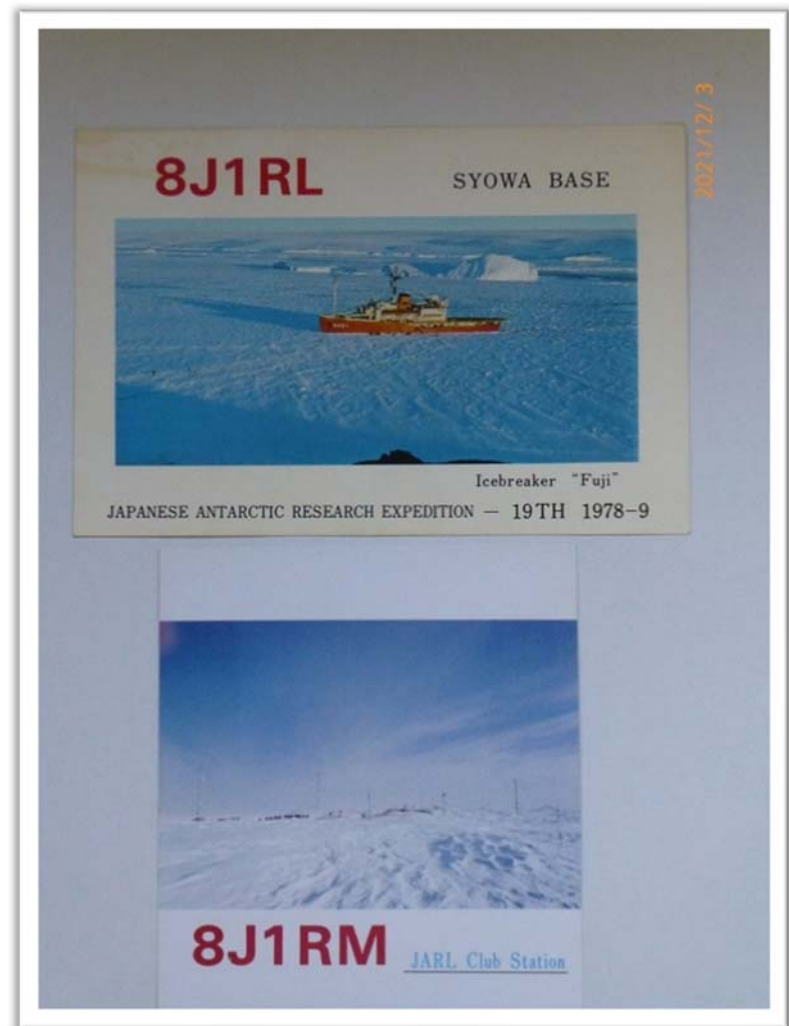
もう二度と南極などは目指さないと誓ったのですが、それから5年後、同じ職場に第8次の越冬隊に参加された方がおり、この方が8J1RLのQSLカードを手渡してくれ、この時再び南極の事が再燃されました。さすがにこの時は父母及び女房にも合格するまで一言もしゃべらず話を進めました。前回問題視された胃についても検査を受けましたが問題は無いとの事で第19次で参加する事で決定しました。

昭和52年11月25日東京晴海埠頭から「南極観測船ふじ」で出港し、12月10日オーストラリアのフリーマントル港に入港、食料等の物資を補給し12月16日南極圏に向けて出港しました。昭和基地に着くには南緯40度から60度に発生する暴風圏（地球上でもっと激しい暴風圏）を通ります。約2週間、8000吨のふじも大揺れしました。私も心配していたのですが船酔いは全く無く幸いでした。

昭和基地には1月中旬、ヘリコプターで到着。この年は“ふじ”も接岸出来ました。昭和基地は南極大陸から約2～3Km手前の東オングル島に設営されました。

南極観測隊には隊ごとに大きなテーマがあり、第19次は「超高層物理学」簡単に言うとオーロラの解明です。越冬中6基のロケットをオーロラに向けて発射しました。南極観測隊は大きくわけて夏隊（夏期の期間だけ観測してふじと共に帰国します）10名、越冬隊（1年間昭和基地で越冬します）30名からなります。又、越冬隊は観測部門（超高層、生物、電離層、気象）と設営部門（機械、通信、医療、調理、設営一般）からなります。

（次ページに続く）





JA1UKU (通信棟内)



送信棟

基地は昭和基地と内陸に約300Km離れたみずほ基地があり、みずほ基地には4名が越冬しました。昭和基地には隊員が寝泊まりする居住等、食堂棟、娯楽棟(女性はいないですがカウンターがついてます)、研究棟、生物棟、電離棟、通信棟、送信棟、機械棟等があります。

気温はマイナス10度~20度、みずほ基地で経験したのはマイナス48度で寒がりの私はどうなるかと思いましたが、人間の体はたいしたもので越冬が終わる頃には10度位だと暖かく感じました。南極ではインフルエンザ菌が生存出来ないで風邪はひきません。南極生活にはルールがあり、食事する場所は席順が決まっており、これで安全を確認しています。食事の際はアルコールが用意されますが相手につぐ事は禁止されています。あくまでも個人のペースで飲むのが原則です。風呂は週2回、昔は年齢順などがあった様ですが私の時は仕事の空きが出た人が自由に入れました。日本と違い外気は乾燥しているので十分でした。トイレは新幹線方式。娯楽としては毎月の誕生会、南極では最大のお祭りミッドウインター祭(南極の全ての基地が日本の夏至(南極では冬至)に、越冬も半分終わったと言う事で行う祭り)食堂にはおでん屋、寿司屋、ソフトクリーム屋等が出店されます。当然、隊員各自がお客と店員です。

さて、肝心の通信の仕事ですが、当時、隊員の連絡は無線電報に限られていました。内地に残した家族との電報は会員証が3名ずつ与えられ、市内電報と同じ料金で送る事が出来ました。日本との時差は6時間、毎日3時間おきに気象のデータ送受、現地の12時から銚子無線と電報の送受、夕食時隊員に電報を手渡ししておりました。私の隊では5Kwの送信機新設工事があり、技術屋は私しかおりませんので一人で通信棟から200から300m離れた送信棟まで毎日出かけておりました。昭和53年はサンスポットも上昇期にあり非常に安定した通信ができました。南極観測隊を目指したもう一つにアマチュア無線があります。8J1RLでパイルアップを経験したいとの思いがありました。昭和基地ではアマチュア無線が許されているのは、アンテナ島にある旧送信棟に限られています。

ここは暖房も入っていないので気温はマイナス10度に近いものでした。日本から出発する前にみずほ基地にもコールサインが欲しい旨を伝えて8J1RMを頂きました。8J1RLのQSLカードも初めてカラーで作成してもらいました。

お陰様で越冬中に交信したのは5,014局を数え、特に電離層の状況が良かったので、14MHzで1,834局、21MHzで3,180局と交信が出来ました。昭和基地でのパイルアップは想像以上に嬉しいもので、なるべく多くの方が繋がる様にエリア指定をこなしました。

アマチュア無線をやっていたお陰で、会社の友人、当時社宅住まいで知り合った仲間等が残してきた家族に音声を伝えてくれたりもしました。連絡手段が無い昭和基地では最高の手段となりました。

折しも昭和54年1月にはNHKが初めて南極昭和基地との生中継(マリサット衛星利用)が実施され、NHK勝部キャスターがやってきました。この中で家族対談も実施され、懐かしい山口百恵さんに息子達も会えた様です。

南極観測隊も今年は63次となり、早44年が過ぎようとしています、今回この様に発表出来る機会をいただき大変感謝しております。長々しゃべってきましたが、私の人生はアマチュア無線との出会いが非常に大きかったと思います。趣味を通して仕事も出来たし、夢だった南極まで行く事が出来ました。

東金市に住み始めてJE1YSYの活躍状況はHPで時々見させて頂きました。いろいろな経験者がいる様で、今後益々の発展を期待しております。有り難う御座いました。

お知らせ

企画部

移動ミーティング・第4回全体ミーティング等の企画部行事は、ただいま新型コロナウイルス感染症の感染者数やワクチン接種等の状況を観ながら実施について検討しております。

決定次第ロールコール・JE1YSYホームページ・会報等でお知らせいたしますので、しばらくお待ちください。

呼びかけ

- ・ 無線局免許状の有効期限を、切らないよう注意しましょう
- ・ YSYの会費納入期限は9月末です。忘れずに納めましょう
- ・ YSYの会員やJARL会員の仲間を増やしましょう
- ・ JARL会員は、会費切れしないよう注意しましょう
- ・ 罰則強化となった「ながら運転」をしないよう注意しましょう

編集後記 広報部

新型コロナウイルス感染拡大防止のためJE1YSYの行事である総会、移動ミーティング、忘年会等が残念ながら2年連続中止となり、掲載記事の不足が心配されましたが、思いがけなく市内在住の秋山氏から越冬隊員として昭和基地での経験等の寄稿がありました。有難うございます。アマチュア無線家として、昭和基地との無線交信以上に夢を実現された秋山氏には頭が下がります。また、これを機に交流が深まることを期待したいと思います。

会員の皆様におかれましては、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策等をしっかり行い新型コロナの脅威から身を守りながら「趣味の王様」と言われるアマチュア無線を楽しみましょう。